

●図書寄贈校の声

2012年度に図書を寄贈した学校に対して行った「図書寄贈 継続希望調査」において、学校図書館げんきプロジェクトで寄贈された本をどのように使用しているのかを質問しました。回答の一部をご紹介します。

岩手県	小学校	学校図書館や学級文庫に図書を置き児童に貸し出している。国語や社会・理科などの学習を進める上での資料として活用している。
岩手県	小学校	教職員から希望を取った図書のうち、市の予算で購入しきれなかった図書を寄贈していただいた。学校図書館の蔵書として子どもたちに貸し出している。
岩手県	小学校	新しい本を紹介し展示して貸出しをした。新しい(読んだことのない)本は子どもたちに人気。今後いろんなジャンルの本を配架したい。
岩手県	小学校	寄贈図書を子どもたちは大変喜びました。朝読書、給食準備時間内、週末読書、読み聞かせ、読書放送などで利用。
岩手県	小学校	子どもたちからリクエストの多かった図書をいただいたのでとても喜んで読んでいます。地図の勉強も少し含まれており旅行気分も楽しめるシリーズなので、学習にも役立っている。
岩手県	小学校	図書室において貸出し。料理や手芸の本はクラブ活動でも活用され男女関係なく借りていく。「震災日記 津波に負けない」は震災コーナーにおいて多くの子どもたちに読まれ常に貸出中となっている。
岩手県	小学校	自然科学系の読み物を中心にいただき、授業での教科書関連図書としての活用、読み聞かせでの活用など、本を通し児童へ復興教育の還元ができるよう蔵書としている。
岩手県	小学校	国語辞典を子どもたちの学習に役だてている。以前は図書室一か所だけに置いていたが、増えたので二か所に置くことができ子どもたちが辞典にふれる機会が増えた。
岩手県	中学校	図書室のほか、学級文庫として教室に配置し、朝読書などに利用している。
岩手県	中学校	寄贈された本でやっと調べ学習のできる本が準備できありがたい。2月末に届いたので、新年度から社会の授業の調べ学習で使いたい。また、職業関係の本は進路学習で使う予定。物語・小説は朝読書の学級文庫に、もちろん普段の貸出しにも活用。
岩手県	中学校	日常の読書や調べ学習等に子どもたちが進んで活用している。
岩手県	高等学校	生徒は本を読むことからたくさんの夢と希望をいただいている。
岩手県	高等学校	「学校図書館げんきプロジェクト寄贈図書」と明記し、生徒に貸し出している。
宮城県	小学校	調べ学習での使用、読書活動での児童への貸出しに役だっている
宮城県	小学校	各学年の授業で使用するため、教科書(国語)に記載されている図書を選んだ。
宮城県	小学校	日々の読書や調べ学習、クラブ活動等で使用。社会科や総合等の調べ学習に活用。
宮城県	小学校	学校図書館で子どもたちが授業、休み時間等で使用している。子どもたちも、新しい本をとても喜んで読んでいます。
宮城県	小学校	「げんきプロジェクト寄贈コーナー」を設置し、貸出しをしている。土曜開放事業として地域の方々にも本を読んでもらっている。
宮城県	小学校	総合的な学習、国語、社会などの調べ学習に活用。また、子どもたちに人気の図書をそろえることができ図書室に足を運ぶ児童が増えました。
宮城県	小学校	調べ学習で使用する図書を多く購入した。自校での活用はもちろん、津波被害を受けた学校への貸出しも考えている。
宮城県	小学校	図書室に置いて貸出し喜ばれている。図書委員会では本の紹介をした。
宮城県	中学校	1学年が職業調べを行う際に「職場体験完全ガイド」が大いに役立っている。社会科の国調べでは「世界の国々」の内容が新しく利用が集中する。
宮城県	中学校	朝読書をはじめとする読書活動全般を、生徒の興味・関心のある蔵書を増やすことで豊かなものにするために利用。
宮城県	中学校	本棚ひとつ(6段分)を使い、プロジェクトの趣旨も添えて展示。いろいろな種類の本をいただいたので男女ともに人気がある。先生方や保護者にも利用してもらっている。
宮城県	中学校	図書室に配架し貸出し。昼休みの図書室はかなりにぎわっている。

宮城県	高等学校	コーナーを設置して貸し出している。「お菓子作りの本」がよく利用されるのは予想できていたが、「サイエンス・アイ新書」が好評だったのは意外だった。
宮城県	高等学校	図書だより等を利用して生徒・職員に紹介し、館内入り口付近の目につく位置に並べて活用している。
宮城県	高等学校	学校図書館に配架し、生徒や教職員の利用に供している。特に水産・食品・情報に関する図書については課題研究の下調べ等で多く利用された。
宮城県	高等学校	普段購入することのできないシリーズの全巻セットが書架に並び、生徒たちも本に手を伸ばす機会が増えた。生徒の興味・関心は多岐にわたり、図書館担当もそれに答えたいと思っているのが、予算に限りがありなかなか叶わない。必要な図書を選書できたのはとてもありがたかった。
宮城県	高等学校	図書館だよりで「学校図書館げんきプロジェクト」の活動と寄贈図書を紹介し、コーナーを設けて生徒・職員に貸し出している。普段は文学中心の購入になっていたのが、さまざまなジャンルの新しい図書に生徒も大変喜んでいて。
宮城県	高等学校	図書館だよりや館外掲示等で紹介したら利用率が増えた。
宮城県	高等学校	新しい内容の図書ばかりなので生徒の進路の指導・小論文指導に役だっている。
宮城県	高等学校	生徒の進学・就職のための教養を身に付けるため、また、論文の参考資料としている。不足していた分野の図書を補うことができた。
宮城県	特別支援学校	小学部や中学部の生徒が喜んで音を鳴らしたり見たり楽しんで読んでいます。
福島県	小学校	今人気の本なので、子どもたちが喜んで読んでいます。各クラス1週間ごとに回し、全員が読めるようにしている。
福島県	小学校	寄贈コーナーに並べ、自分たちを応援してくださっている人がたくさんいることを知らせている。
福島県	小学校	貸し出しています。良書が多く素晴らしい。
福島県	小学校	子どもたちが楽しんで読める物語の本が多く、読書タイム、読み聞かせで活用。読書好きな子どもが増えた。特に「ガフールの勇者たち」は男子に人気があり、本を読む男子が増えた。
福島県	小学校	本が届くとすぐに、図書ボランティアの方が装備を行い、貸出しを開始した。校内放送で本の紹介を行い、新刊コーナーで面展示したところ、全学年児童が積極的に本を借り、次々に読んだ。
福島県	小学校	2012年度は校内で購入したくても予算がなく購入できなかったものを寄贈していただいた。授業と関連のある本や新刊など、たくさん本に子どもたちも大喜びで手に取っている。授業や読み聞かせなど様々な場面で活用している。
福島県	小学校	放射能に関する本を多く選んだので、調べ学習や総合学習、いろいろな教科で利用し、学習している。大変有効に活用されている。
福島県	小学校	寄贈図書をおたよりで紹介し、コーナーを設けて貸出した。子どもたちは新しい本を喜んで手にとり図書室に足を運ぶことにつながっている。
福島県	小学校	図書室に配架し、子どもたちが自由に読めるようにしている。新しい本においては子どもたちの五感を刺激するらしく、手に取って熱心に読んでいく姿を見かける。
福島県	小学校	通常の本と同じく貸出しを行っているが、絵本や人気のある本を寄贈していただいたので借りる人がとても多い。本には「寄贈書」のシールと寄贈先を明記し、子どもたちに大切に読んでもらっている。
福島県	小学校	外での遊びが制限される中、読書冊数が増えている。下学年においては、学級文庫としてクラスに配置し、常に手元に読みかけの本があるようにさせている。
福島県	小学校	子どもたちは喜んで調べ学習や朝の読書で使っている。大変好評。
福島県	小学校	図書室にて児童が自由に読んでいます。新しい本に飛びつくように興味を持って読んでいます。
福島県	小学校	自校の図書購入費ではポプラディアの購入が難しかった。げんきプロジェクトの寄贈で購入でき、授業での調べ学習などに活用することができた。
福島県	小学校	国語の学習に関係する本を中心に選んだ。国語の学習後の発展的な学習の一つとして活用している。各教室に図書を置き、学習の時間はもちろん、朝の読書の時間、休み時間に活用している。
福島県	小学校	エネルギー関連の資料は高学年の国語科や総合的な学習の時間の調べ学習に活用。低学年・中学年向けの読み物資料は学校図書館に配架して貸出し。
福島県	小学校	読み聞かせに有効なビッグブックを選んだ。保護者から子どもたちへ、高学年の児童が児童会活動で低学年に、多人数での読書にと幅広く活用している。
福島県	小学校	寄贈がちょうどクリスマス時期だったので、本との出会わせ方を工夫した。子どもたちは目を輝かせ、冬休み用にとたくさん借りていった。本の選定については、一人ひとりの子どもたちの顔を思い浮かべながら喜び姿を想像して行った。
福島県	中学校	図書室に置いて利用。とてもありがたいプロジェクト。
福島県	中学校	授業や調べ学習で使うための国語辞典と写真集・文学作品など生徒の心をいやすようなものを希望した。国語辞典は学習に有効に使用し、写真集等は図書館の机の上に展示して子どもたちが楽しんでいる。

福島県	中学校	寄贈本コーナーの書架に並べ、感謝しながらたくさん読むように全校生に紹介して使っている。
福島県	中学校	主に朝の読書用に各学級に配架。「読み物」は生徒の希望に沿って選んだので好評で、読書への興味・関心が高まった。
福島県	中学校	多くは読み物を選んだ。全学級分のコンテナを用意し、学級文庫として利用。できるだけたくさん本に親しんでもらうため、毎月1回図書委員が入れ替えを行っている。
福島県	高等学校	館内にコーナーを設置して寄贈図書を紹介した。また、毎月発行している「図書館だより」にもプロジェクトの趣旨および寄贈図書リストを掲載した。春休みのため、特別貸出でそれらの図書を借りていく生徒も多く好評である。
福島県	高等学校	各学科の授業や課題研究に役立つ資料(本の単価が高額なもの)を購入でき、先生方にも好評だった。
福島県	高等学校	生徒・教職員の希望した図書、廃棄した図書と同等の図書、生徒の進路実現にかかわる図書等をいただき、生徒・教職員の利用に供している。生徒・教職員とも大変喜んでいる。
福島県	高等学校	生徒の今後の学習につながる学術的な図書を中心に使用。
福島県	高等学校	専門各科の選定図書を希望した。授業などを通して教職員が生徒へ利用を進めている。
福島県	特別支援学校	休み時間や朝の会での読み聞かせ、調べ学習(鉄道・食物)に使用。
福島県	特別支援学校	理科資料をまとめてそろえることができたので、理科関連の書架だけ生き返ったように美しく、児童生徒の関心が高くなったことがうかがわれた。
福島県	特別支援学校	「大きな文字の青い鳥文庫」や大活字本を多くそろえることができ、生徒だけでなく教職員の関心も高まった。耐震工事で半年間閉館だったが、廊下に展示し活用した。